

さあ！今こそバカンス法 記者会見&シンポジウム in 東京

バカンス法で、農村及び日本人の心の再生を目指す

～ILO132 号条約に批准し、世界 36 カ国の仲間になろう～

主 旨：

1970 年に ILO において 132 号条約が制定され、これを批准する国が、現在 36 カ国となっている。この 132 号条約は、有給休暇を完全消化する長期休暇法（バカンス法）で、人々が長期の休暇を取得することを可能とし、心身のリフレッシュだけでなく、ワークシェアリングや地域雇用創出による不況脱出や雇用回復に大きな影響を及ぼしてきた。

また、その恩恵は、都会の住民や観光業だけでなく、国全体の経済基盤、そして農業・グリーンツーリズム等の産業にも多大な影響を与えてきた。日本が同条約を批准した場合、約 140 万人の雇用や、約 11 兆円の経済効果が創出されるとの国土交通省の推計もある。尚、このバカンス法を施行する上において、最大の特徴は税金を使わずに出来るということである。

今後、他産業との連携も必要となって来るが、まず、その第一歩として、当シンポジウムにおいては、“農村及び日本人の心の再生を目指す” 為に、このバカンス法の有用性を知ってもらい、日本における、ILO132 号条約の批准の可能性について議論するものである。

日 時：平成 26 年 1 月 22 日（水） 13:30～17:30

場 所：東洋大学 125 周年記念館 定 員：150 名（先着順）

（〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 代表 TEL 03-3945-7224 ）

参加費：無料

主 催：バカンス法記者会見&シンポジウム in 東京 実行委員会

- ・ NPO 法人 日本グリーンツーリズムネットワークセンター
- ・ NPO 法人 大分県グリーンツーリズム研究会
- ・ NPO 法人 安心院町グリーンツーリズム研究会
- ・ 日本長期休暇（バカンス）法批准推進連合会
- ・ 集客都市研究所 ・ ㈱安心院長期休暇研究連合会

協 賛：公益財団法人 江頭ホスピタリティ事業振興財団 東洋大学

後 援：朝日新聞社 西日本新聞社 農業共済新聞 毎日新聞社 九州旅客鉄道株式会社

株式会社 J T B 近畿日本ツーリスト株式会社 東武トラベル株式会社

大分県 NHK 大分放送局 OAB 大分朝日放送 OBS 大分放送 TOS テレビ大分

公益社団法人ツーリズム大分

（業種・地域別の五十音順）

日 程

- 13:00～13:30 開場
総合司会 森反 章夫 氏 (東京経済大学 現代法学部 教授)
- 13:30～13:40 開会式
開会のことば 田中 友昭
(NPO 法人大分県グリーンツーリズム研究会 副会長)
実行委員長あいさつ 宮田 静一
- 13:40～14:10 エプロン記者会見
グリーンツーリズム発祥の地“安心院”の実践お母さん達の声明
時枝 仁子 (農村民泊『百年乃家ときえだ』女将、スローフード感謝祭実行委員長)
本多 雅子 (農村民泊『そこぎりの舎』女将、安心院町 GT 研究会 広報部長)
望月 陽子 (農村民泊『竹取物語もっちゃんち』女将、大分県 GT 研究会 事務局長)
- 14:10～14:50 基調講演 『山と田んぼと川から、バカンス法まで』
講師 宮田 静一 (大分県及び安心院町グリーンツーリズム研究会 各代表)
- NPO 法人大分県及び安心院町グリーンツーリズム研究会各代表。
1943 年 (昭和 24 年) 大分県宇佐市生まれ。ぶどう専業農家。
農村民泊生みの親の“観光カリスマ”。
- 15:00～17:10 パネルディスカッション (予定・五十音順)
コーディネーター 市原 実 氏 (NPO 法人 日本で最も美しい村連合)
パネリスト 丁野 朗 氏 (公益社団法人
日本観光振興協会 常務理事)
小松 史郎 氏 (集客都市研究所 所長)
横尾 敬介 氏 (みずほ証券株式会社 常任顧問)
青木 辰司 氏 (東洋大学 社会学部 教授)
宮田 静一 (NPO 法人 大分県及び安心院町
グリーンツーリズム研究会会長)
- 17:10～17:30 会場より、ご意見
- 17:30 お礼のことば 宮田 静一 実行委員長
閉会のことば 平野武士 (NPO 法人大分県 GT 研究会バカンス法批准推進本部)
- 17:40～20:00 夕食交流会 安心院ワインの集い 会費 一人 5,000 円

バカンス法 記者会見&シンポジウム in 東京 実行委員会
TEL 0978-44-1158
FAX 0978-44-0353
japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp